

NPO法人 千葉を美しくする会

年2回発行 (1月1日・7月1日)

発行責任者 長谷川昭次

編集担当者 石井 和美

発行所 NPO 法人千葉を美しくする会

〒273-0005 船橋市本町6-21-16 (日本企画株内)

TEL : 047-426-0026 FAX : 047-426-6071

URL: <http://www.chibao-uthukushi.sactown.jp>



はじめに (体得して)



関東地区の各掃除に学ぶ会で構成する関東ブロック大会が、過日開催されました。2日目の掃除実習会場は神奈川県富士見台小学校。私もメンバーの1人として参加しました。12班に所属し、手洗いの場所の担当になりました。いつもはリーダーかサブリーダーを担当するのですが、この時は違いました。言うなれば初めての手洗い場の取り組みになったのです。

この手洗いは一見する所、きれいに見える。でも良く見ると汚れている所もある。細かい所の備品や陰の部分は結構汚れている。そこを担当に掃除して行く事にする。もうこの位きれいになれば良いかなと思えた時、そうだ磨いて見よう! と気付いたのです。スポンジとカネヤンと水気とで磨いて行った。20回30回・・・と。するとどうでしょう、その手洗い場が語りかけてくるではありませんか?! “綺麗でしょう” と。そうしましたら急に愛おしさが湧いてきたのです。その瞬間、語りかけて来たと思えたその手洗い場を抱きかかえたくなったのでした。

愛おしさの事は、リーダーを務める度に良く口にして、班の人達に聞いてもらい実習してもらっていましたが、私自身がその愛おしさを本当に体得できた事に、驚きと感動を覚えています。これからは益々強くこの事を伝えて行きたいと思えます。

PHP 研究所「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」 鍵山秀三郎著 (亀井民治編より)

第6章 人間力を高める ～ 「自分だけ」という歪^{いびつ}な心 ～

来店されるお客様のなかには、何かと難癖をつけなければ気の済まない体質の人もあります。なかでも、しつこく食い下がられるお客様は、比較的社会的地位の高い人が多いように感じます。

この人たちの共通点は、「自分のいう通りにならなければ許さない」「人のいうことはまったく聞こうとしない」「自分の基準として物事を考えられない」「人の事はどうでもいい」「しつこい」ということです。考え方が楽那的(セツナテキ)で、判断基準は「自分だけ」「いまだけ」。

たぶん、こうした人は、会社組織のなかで自分の成績を上げることだけに躍起になって生きてこられたのでしょう。どちらかという、アメリカナイズされた価値観のなかで、ただひたすら駆け抜けてきた自信家ではないかと思えます。

それだけに、自分以外の勝ちを容易に認めようとしません。ある面では、競争社会で心が歪(イビツ)になり、砕かれてしまった人なのだといってもいいかもしれません。

当然、人間は誰しも、幸せを求めて生きています。しかし「自分だけ」では幸せになれません。現実社会で「自分だけ」が幸せになろうとしても不可能なことです。だとしたら「自分だけ」という考え方を捨てて、「みんなで」幸せになる方法を考える事です。

そのためには、どうでもいいことは、出来るだけ譲る事です。

日本企画 40周年の歩み

風光明媚な南の島徳之島には、日本企画リゾート&オフィスがあります。このオフィスを中心に掃除に学ぶ会は立ち上げられ、活動を行ってきました。今この掃除に学ぶ会が、徳之島町、天城町、伊仙町の有志に引き継がれてきています。

いわば、島ぐるみの活動となつて来ているわけです。もちろん日本企画リゾート&オフィスも、そのメンバーの一員となつて活動しているのですが。

徳之島掃除に学ぶ会年次大会には、日本企画株式会社利社長が依頼されて講話をされたとの事。内容は20分間くらいのDVDと言葉に依る掃除の直接の講話の合計40分間位であったとの事。この直接の講話の内容を要約して、以下に掲載させていただきます。

昨今、NPO法人日本を美しくする会が提唱する“続けるから→伝える”と言う内容にも叶うものではないかと思えるのです。

皆さん、こんにちは。

日本企画の利哲雄と申します。徳之島掃除に学ぶ会、年次大会の講話のテーマとして「日本企画40周年の歩み」と言う事を選びましたが、実に重いテーマになってしまいました。

とあるセミナーで「企業は設立してから、ほぼ10年で94%が消える、倒産します。そして、30年では0.2%しか、生き残っていない」と。実に1000社のうち2社のみが存続していることになります。

そのことから考えれば、日本企画の40周年は意義深いことになります。私は社長のバトンを受け取って、6年目になりますけれど、何故40年も存続できたかを考えますと、いくつかのポイントがあるように思えました。

それは、先ず幼少のころに遡りますが、私は昭和30年に諸田（しよだ）という集落で生まれました。物心ついた4~5歳頃のことですが、電気なし、水道なし、ガスなし、その上、母が病弱で入院中だったため、兄弟で家事を担当割してこなさなければなりません。天秤棒を担いで泉に行つて水を汲む係り、家畜の豚に餌を与える係り、部屋掃除の係り、洗濯板で揉み洗いをする係り、食事を作る係りと最低限のことながら、5人兄弟で協力し合つてこなしました。誰かが欠けてもことは上手く運びません。このことで、お互いの絆がしっかりと紡がれたと思います。三種の神器(電気・ガス・水道)が出たのはそれから6~7年後のことでした。

その次は中学2年生の途中で大阪に引っ越したことでしょう。島の暮らしも決して楽ではありませんでしたが、大阪暮らしも中々馴染めませんでした。少しでも家計の足しにと思つて始めた新聞配達のアパート。勿論、中学生ですから、学校には内緒でしたが、きっと担任は分かっていたことでしょう。確か250~300世帯ぐらいだったと思いますが、台風だろうが、雪が降ろうが、体調が悪かろうが、待っているお客様に配らなければなりません。当然ですが、その区域を知っているのは自分しかいないのです。このアルバイトを通して、仕事の厳しさ、責任感を養いました。

日本企画の事業も順風満帆で進んでいました平成5年頃、日本のバブル経済が崩壊してしまいました。このことで、プロジェクトは中止になる、開発計画は延期になる、人財はどんどん戻されるし、売り上げは月毎に激減して倒産も覚悟しなければならぬ最悪の状態になってしまいました。どのようなことがあつても倒産だけは許されません。会社を立て直すために色々得た情報の中でイエローハット(当時：(株)ローヤル)にたどり着きました。

正にこの時、鍵山掃除道に出会つたのでした。鍵山社長(当時)に言われたのです。

『皆さんが本気でこの掃除に取り組まれるのなら、十年ぐらいで素晴らしい会社にする事ができますよ。(株式会社開も夢ではありませんよ。)ただし、他人にやらせたらダメですね。他人にやらせようとする、会社を潰します。自ら先頭に立ってしなければね』と。実に蘊蓄のある言葉でした。

そして、この言葉にトップは決心したのです。早速、翌日から掃除を始めました。そして掃除にはまつて行きました。のめり込んで行くことが出来たのも、徳之島での兄弟の協力のし合い、お互いの絆の強さ、そして大阪でのアルバイトを通しての厳しさと責任の重要さを、身に付けていたからだと思えるのです。

社長のバトンを引き継いで、何とかここまで継続できたのは、日本企画の企業文化が素晴らしいからだと思えます。その礎を築いたのは現会長でありますし、このことを継承、継続する責任が私にはあります。50年、100年と未来永劫に続く企業文化を創り、また、リーディングカンパニーとしての、後輩指導やいろいろなことを伝えていくことが、私の使命と心得て、掃除道を極めながら経営に邁進して行きたいと思えます。ありがとうございました。

日本企画 株式会社 代表取締役 利 哲雄

れいたく掃除に学ぶ会

同封の冊子、清風掃々NO24の37頁下欄に新しい記載があります。そうです、30番れいたく掃除に学ぶ会 清水千弘代表世話人と。

この掃除に学ぶ会の発足は、今年の夏の頃でした。発足に当たって乞われるままに、適切かな?と思いながら、お渡しした物が次の4ページの資料です。この他に道具取り揃えの事やリーダー研修の事や運営の事等の資料も、日本企画(株)を通してお渡ししました。

ここでは4頁の資料“〇〇を美しくする会(別名〇〇校便教会)〇〇校掃除に学ぶ会”について少し説明させていただきます。とくにこの中で、朱色で囲んだ所の担当者か校長先生にはずいぶんとお骨折りをかけた事と思えます。それだけに重要な役割を担われたわけでございます。更に学校側として右側上欄に書いてありますような内容に率先して取り組まれました。ですから私共NPO法人千葉を美しくする会や日本企画(株)は依頼されて、リーダーの務めと道具の取り揃えをした位でした。

こうして目の前で「れいたく掃除に学ぶ会」の立ち上げが出来ました事に驚嘆しているのです。又この4ページの資料のような内容を、手順に沿って進めて行けば、掃除に学ぶ会を立ち上げる事が出来るのだ、と言う思いも大いに湧いて来たのです。

れいたく掃除に学ぶ会が、益々充実し深化して行く様に、持てる物をお伝えして行かなくてはと思います。尚同封の冊子「道教一体“仕事術”」はれいたく掃除に学ぶ会と、大変関係の深い物です。お手に取ってくだされば、幸いです。尚々、先の清風掃々16頁もご参照ください。

平成26年7月～12月千葉掃除に学ぶ会実施表

7月8日(水)	旭中央小学校	山武掃除に学ぶ会
7月12日(土)	麗澤大学	れいたく掃除に学ぶ会
7月26日(土)	富里市立富里北中学校	印旛掃除に学ぶ会
8月22日(金)	香取市立小見川中央小学校	京葉掃除に学ぶ会
9月3日(土)	多古町立中村小学校	印旛掃除に学ぶ会
9月20日(土)	船橋市立行田西小学校	日本企画株式会社
9月25日(木)	八日市場第一中学校	山武掃除に学ぶ会
10月18日(土)	印西市立印旛中学校	印旛掃除に学ぶ会
11月12日(水)	市原市立湿津中学校	上総掃除に学ぶ会
11月20日(木)	旭市立干潟中学校	山武掃除に学ぶ会
11月29日(土)	富里市立富里中学校	印旛掃除に学ぶ会
12月2日(火)	山武市立成東東中学校	山武掃除に学ぶ会

平成27年1月からの予定

1月24日(土)	千葉県立成田国際高等学校	印旛掃除に学ぶ会
3月28日(土)	浦安市立日の出中学校	京葉掃除に学ぶ会
5月30日(土)	千葉県立佐倉南高等学校	印旛掃除に学ぶ会

編集後記

この新年号には“続けるから → 伝える”と言う言葉が、随所に使用されている気がします。NPO法人千葉を美しくする会では、新年度からの活動を「続けるから伝える！」に移行させそれをスローガンにさせようとしています。ちなみに昨年度までは、1人の百歩から千人の一步へでした。

新しいスローガンをしっかりと理解して、活動を推進していきたいと思えます。この観点から見ますと、今迄の活動に見直される面が多々あります。その辺をわきまえながらNPO法人千葉を美しくする会は、各地区掃除に学ぶ会に対して、しっかりした支援や助成をして行こうと思えます。

記石井和美

- 1.参加者は、そして人数は、日時は。
- 2.掃除するトイレはどこどこ
- 3.男子トイレを1つの班として、女子トイレを1つの班として編成。
- 4.小便器1つに1人が大便器1つに1人が担当し磨いて行く。

〇〇を美しくする会 (別名〇〇校便教会) 〇〇校掃除に学ぶ会 等

学校側・生徒側として	当日の流れと担当内容	掃除に学ぶ会側として
<p>今回は 今回の ◎掃除に対する思い入れ ◎それを元に生徒への指導 ◎トイレ場所毎の班長の選定 ◎トイレ場所毎の班編成</p> <p>ささ 君 君 んん 君 K J F E D 手洗 A B C さん 君 さん 左廻 4の時 校長先生、担当者様の紹介</p> <p>※各班の班長 ※各班の班長 ※各班の班長 ※各班の班長</p> <p>◎校長先生の挨拶 ◎後日生徒の感想文 (代表的なものをコピーで)</p>	<p>〔前日まで〕</p> <p>学校と学ぶ会の打合せ ← 学校と学ぶ会とて ← → 学ぶ会へ → 学ぶ会へ → 学ぶ会へ</p> <p>菜は学校へ生徒へ学ぶ会へ渡す ← 学校へ ←</p> <p>当日の 〔開会式〕 (式次第第3学校側で作成し生徒が運営する事も) ←</p> <p>〔掃除実習場所で〕</p> <p>掃除実習場へ班長が引率 1.諸準備・自己紹介 ← 2.道具の名称・使い方 ← 3.トイレ便器磨きの手順や方法の実演 ← 4.班の人に便器掃除分担場所指示・図参照 5.掃除分担毎に掃除に没頭 ・細かな掃除の仕方面で ← ・励ます、引き出す、ほめる等で ← ・掃除没頭の時間は約60分間 ----- 鍵山掃除道の体得・達成感・気付き ・この60分間は命 ・愛おしさ等を</p> <p>〔掃除実習終盤〕</p> <p>①床磨き ← ②ホースで水かけとタオルでの水拭き ← ③道具の水洗い ← ④床の水引き ← ⑤道具をしまう(学校の物と学ぶ会の物と) ← ⑥手洗・道具しまいを手伝う ⑦手を洗って三角折・反省会と感謝の礼を ← 班の人を道具置場と ←</p> <p>閉会式会場へ引率 〔軽食〕(有る場合) ← 〔閉会式〕 (式次第第3学校側で作成し生徒が運営する事もある) ←</p> <p>→ 学ぶ会へ(後日)</p>	<p>学校との打合せ 当日掃除するトイレの下見 道具の取り揃え リーダー・サブリーダーの人選 学校のを元にして学ぶ会全体の班編成をする 菜の作成とその内容 ●表紙 ●学校の思い入れ ●掃除の五徳 ● 閉会式次題 ●班編成 ●トイレ場所の図 ●歌詞 道具の搬入をする 学ぶ会が作成する事も リーダーが サブリーダーが リーダーが サブリーダーは技術面の指導 リーダーは心の面の指導を 鍵山掃除道の体得・達成感・気付き 愛おしさ等を リーダーが実演(乾式トイレは要注意) リーダーが実演・壁面と便器に対して サブリーダーが実演 リーダーが実演 サブリーダーが班長と リーダーが サブリーダーも道具置場へ ※保護者と学ぶ会とで軽食作りを 学ぶ会</p>

- 何か悪い事をした罰としてトイレ掃除をするのでは無いと言う事。
- 心の面で大切な事が体感できると言う事。
- 部活動が強くなると言う事に関連する事。
- 便器1つに対し1人の人が担当して掃除をし磨いて行くと言う事。
- 便器1つに対し60分間位とその前後70分位である事。
- 指導者はNPO 法人 日本を美しくする会の各地区掃除に学ぶ会の人達であると言う事。
- その他

つけ加えとして